

* フォーラムの目的

政策情報学フォーラムの目的は、議論を行う上で時間的制約などがある研究大会などのイベントとは異なり、小規模で政策情報学に関連した様々なテーマを取り扱い、時間をかけた密度の高い議論を行っていくことにあります。また、さまざまな異なる立場の交流と協働の「開かれた対話と創造の場」として構想されており、現実のさまざまな政策問題を探求、検討し、実際にその解決策を提示しながら、社会の持続的発展に寄与することを狙いとしております。

開催日時: 2016年7月9日(土) 14:00～

開催会場: 立命館東京キャンパス
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー8階 教室4
(※3階までエスカレーターで上がり、3階受付で入館手続き後、エレベーターで8階までお上がりがください。)

テーマと趣旨: 「政策研究と政策情報」

政策研究には、現行の政策や今後の政策案を評価したり、より良き政策案を提示したりする役割が期待されています。こうした政策研究は「評価」や「提示」というかたちで新しい「政策情報」を生産・供給する一方で、「評価」や「提示」を行うためには何らかの「政策情報」を活用することが不可欠となります。即ち、政策研究に携わる者は、政策情報のユーザーでもあり、政策情報の発信者でもあります。このような認識から引き出される示唆は、政策情報という観点から政策研究を捉えることの重要性です。生産要素である政策情報と、製品である政策情報とが、生産活動(政策研究)において如何に結び付けられる(べき)かについて考究することは、より良き生産活動(政策研究)のあり方の探究の展開に大きく貢献すると考えられます。今回のフォーラムを企画するにあたりまして想定されています論点としては、例えば以下のようなクエスチョンが挙げられます。

- 政策情報は、政策過程において如何なる意味や影響力を持つのか。
- 如何なる政策情報を、政策過程に向けて発信すべきか。
- (そもそも)政策情報とは如何なる情報なのか。
- 政策研究は政策情報として如何なる意義をもち得るのか。

縣先生は、政府等の会議のメンバーとして、生産要素である政策情報の産出にも関わってこられている一方で、情報通信政策の研究をはじめとして政策研究(製品としての政策情報)の生産にも従事され、さらには行政学と政策研究との関連性といったメタ・レベルの観点からも政策研究について論究されていらっしゃいます。本フォーラムにおいて、政策情報と政策研究や政策過程との結びつきのあり方について多面的なご講演を縣先生からいただくことは、政策情報の発信者の役割を担う学会会員の研究活動等にとりまして多様な示唆に富むものとなることでしょう。

プログラム: 14:00-14:20 歓迎挨拶・フォーラム趣旨説明
政策情報学会会長 中道壽一(北九州市立大学名誉教授)

14:20-15:20 ご講演
縣公一郎先生(早稲田大学政治経済学術院教授, 日本行政学会元理事長)

15:20-15:30 休憩

15:30-16:30 討論

16:30-16:45 まとめ

16:45-16:50 閉会の辞

17:10-18:40 懇親会(サピアタワー内「パピミラノ」)

ご講演概要: 「政策研究と政策情報 ー審議会/研究会での議論を基にー(仮題)」

1. 政策研究のフェイズ
2. 政策情報のシェーマ
3. 政策分析の実例:統計データの二次的利用
4. 政策評価の実例:独立行政法人評価
5. 結語

主催: 政策情報学会
<http://www.policyinformatics.org/>

企画担当: 松田憲忠(青山学院大学法学部教授)

参加費: 無料(懇親会に参加される方は別途費用が掛かります)

申込期限: 6月29日(水) ※期限厳守
※会場はビルのセキュリティの関係上、事前登録者しか入館できませんのでご注意ください。

出欠連絡の方法: 出席・欠席に関わらず、以下の URL から出欠連絡をお願いいたします。
<http://www.policyinformatics.org/event/forum/11th/form.html>
※非会員の方の参加も大歓迎です。

交通アクセス: <http://www.ritsumei.ac.jp/tokyocampus/access/>

